

法人名	社会福祉法人 やながせ福祉会
事業所名	定期巡回 かつはら

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				でき ている	ほぼ でき ている	でき ない こと が多い	全く でき ない		
<b>I 構造評価(Structure) [適正な事業運営]</b>									
<b>(1) 理念の明確化</b>									
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				法人理念である「利用者一人ひとりのニーズと意思を尊重し、出来る限りの生活の質の向上を図る」に基づき、「住み慣れた自宅で24時間365日の安心を」という理念を継続して掲げている。	【自己評価の内容を確認した】
<b>(2) 適切な人材の育成</b>									
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				サービスの特徴と事業所の理念を十分に理解し、専門技術やサービスの質の向上が行えるよう取り組んでいる。	【自己評価の内容を確認した】
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーター)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している			○		施設内の会議や研修で、全体及び個別の指導を行い、状況に応じて資料配布をする等して職員の育成に向けた取り組みを継続して行っている。法人外の研修も全員が参加出来る機会が設けられるよう調整を行っている。	【自己評価の内容を確認した】
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	○				職員の配置に関しては、能力が最大限に発揮されるように過度な連動を防ぎ、心身共に負担が減らせるよう配慮している。日々の訪問間隔も少しでも余裕が持てるように配慮している。	【自己評価の内容を確認した】
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	○				連携先の訪問看護事業所等とこまめに電話連絡を行い、同時にケース記録の閲覧等行う事で日々の連携を図れるようにし、利用者の状態やニーズ等の情報共有を行い、相互理解を深める機会を確保している。	記録が閲覧出来る事で日々の状況をこまめに確認する事が出来て、情報を共有出来る事で訪問時に助かっている。
<b>(3) 適切な組織体制の構築</b>									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			出来る限り柔軟な対応が出来るように職員配置や訪問、支援内容の調整等を工夫している。	【自己評価の内容を確認した】
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	○				会議で得られた意見や要望、助言や改善策等を共有し、サービスの提供等に反映させている。	意見も伝えやすく、その伝えた内容も反映してもらえる為、利用者様のニーズや状態に合った支援が行われるので助かっています。
<b>(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備</b>									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				必要時には電話連絡を行い、記録の閲覧もしてもらう事で情報の共有が迅速に出来るように工夫している。	システム活用やこまめな電話連絡等で利用者の様子が分かり易く、情報共有し易く助かっています。
<b>(5) 安全管理の徹底</b>									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)		○			緊急時等各種マニュアルを作成し各職員に周知している。法人内の安全対策委員会が中心となって行う各種研修にも参加し、備品の管理、整備等も並行して行っている。	【自己評価の内容を確認した】

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				でき ている	ほぼ でき ている	でき てい ない こと が多 い	全く でき てい ない		
②	利用者等の個人情報保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				個人情報、マニュアルに沿って取り扱い保護している。利用者の情報においてもパソコン管理を行い、必要な書類等は鍵付きの棚にて管理している。	【自己評価の内容を確認した】
<b>II 過程評価(Process)</b>									
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>									
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			利用者の生活リズムに合わせた訪問が行える様、日々の訪問でニーズや状態を把握している。	【自己評価の内容を確認した】
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○				共有のシステムで日々の状況を確認したり、必要に応じて電話連絡行う事で、関係者間の情報共有を図る事が出来ている。	日々の状況はシステムで確認する事が出来る上に状況に応じて電話でも連絡をくれるので助かっている。
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			日々の関りから利用者の状況を把握し、必要な支援計画を立てる事で心身機能の維持回復が図れるよう努めている。	利用者の状態に合わせて、心身機能の維持回復を前提としたプランを立ててくれるので助かっています。
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			重度化を防いでいく為にも日々の状態観察等関わり方に注意し、日頃から関係者との連携をこまめにとるように努めている。	必要に応じた訪問をしてもらい、記録の閲覧や必要に応じた電話連絡をもらえる事でリスク管理し易く、状況に応じた対策を取る事が出来るので助かっています。
<b>(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し</b>									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				状況に変化が見られた場合、訪問回数や時間の設定、支援内容の調整等を臨機応変に柔軟に行っている。	利用者の状態が変化した場合、随時訪問してくれる等訪問回数や時間を臨機応変に変更して対応してくれており安心です。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	○				定期訪問や随時訪問を通じて継続的なモニタリングを行い、利用者の状況変化の早期把握をする事が出来ており、計画への反映も行われている。	【自己評価の内容を確認した】
<b>(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	○				日々の状況を記録し共有し、必要に応じた電話連絡をする事で訪問看護事業所等と連携を密にとり、助言や必要な訪問による対応をってもらう事で、専門性を生かした役割分担が行われている。	日々の記録の閲覧とこまめな電話連絡がある事で、助言し易く、役割分担もし易く助かっている。
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			訪問看護師とこまめに連携を図り、必要な助言や指導を受ける事が出来ており、不安少なく支援に入れている。	予防や心身機能の回復に向けた助言をする事で、必要な支援に繋がりが助かっている。
<b>(4) 利用者等との情報及び意識の共有</b>									

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント		
				実施状況						
				でき ている	ほぼ でき ている	でき ない こと が多い	全く でき てい ない			
				コメント						
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○				カンファレンスや事前訪問等の場で必要なアセスメントを行い、契約時に利用者やご家族に対してサービスの趣旨や内容等必要な情報提供、説明を行っている。	【自己評価の内容を確認した】	
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○				計画書の目標や支援内容はその都度分かり易く説明するよ努め、共通の認識が得られるよう努めている。	【自己評価の内容を確認した】	
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				利用者の状況変化やサービス変更等が生じた場合、ご家族等に分かり易く説明し、関係者にも速やかに電話連絡する等して報告、相談等を実施している。	【自己評価の内容を確認した】	
<b>2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント</b>										
<b>(1) 共同ケアマネジメントの実践</b>										
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている		○			記録の閲覧や日々の電話連絡により情報を共有し、サービス提供状況や心身機能・環境の変化等に係る情報が共有されており、それを元にサービスの提供日時等が共同で決められている。	日々の記録閲覧や電話連絡等で必要な情報を報告してもらえるので、訪問の時間や回数を一緒に決め易く助かっています。	
		23	計画の目標達成のために、必要に応じ、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている			○		必要に応じて目標達成に向けた提案は行うが、地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含めると、更なる努力が必要である。		【自己評価の内容を確認した】
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				サービス担当者会議の中で、利用者等の状況や目標の達成状況等について説明し、多職種に対しての情報提供を行っている。		【自己評価の内容を確認した】
<b>(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献</b>										
①	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)							
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)							

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				でき ている	ほぼ でき ている	でき ない こと が多い	全く でき ない		
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)						
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>									
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			議事録にまとめ保管、管理している。	【自己評価の内容を確認した】
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			ホームページに掲載する事で、居宅介護支援事業所や病院関係者だけでなく、ご家族や地域の方等より多くの方々に対して広報周知を継続して行っている。	【自己評価の内容を確認した】
<b>(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			研修や勉強会で取り扱う事で地域包括ケアシステムの方針や計画について理解出来るように努めている。	【自己評価の内容を確認した】
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				提供エリアに関しては状況に応じて利用の受け入れを調整している。限定せず、広く展開し提供出来るよう継続して努めている。	【自己評価の内容を確認した】
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)						
<b>Ⅲ. 結果評価(Outcome)</b>									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	○				統一したケア、情報の共有を継続して行う事で計画目標の達成が図られている。	【自己評価の内容を確認した】
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○				定期訪問及び随時訪問を行い、各関係者とこまめに連携を図り情報の共有を行う事で、安心感を得て頂けるように努めている。	いつも臨機応変に対応してもらい、記録の閲覧やこまめな電話連絡等がもらえるので、本人や家族、関係者も安心して生活出来ている。